

10 危険物類

【関連章第4章2】

事例1 「オイルが染み込んだタオルから出火した火災」

出火時分 3月 2時ごろ
用途等 複合用途（コインランドリー、事務所、共同住宅） 耐火造 8/0 延 500 m²
防火管理 非該当
被害状況 建物ぼや1棟 タオル40枚等焼損
概要

この火災は、複合用途の1階コインランドリー内から出火したものです。

出火原因は、オイルマッサージ店の従業員がオイルマッサージで使用したタオルを洗濯、乾燥をした後、洗濯かご内に放置していたため、オイルの成分である不飽和脂肪酸が酸化発熱し、出火したものです。

コインランドリーの利用者は、コインランドリー内で洗濯かごに放置されていた洗濯物から煙が出ているのを発見しました。

火災を発見した利用者は、洗濯物から煙の出ている洗濯かごが乗ったカートを店外に出した後に110番通報しました。

教訓等

この火災は、アロマオイル等に含まれる不飽和脂肪酸は、空気中の酸素に触れて酸化することで発熱します。乾燥後の衣類などを乾燥機の中にそのまま放置する、若しくは取り出した後、山積みにして置いておくと、熱が外部に逃げにくくなり、発熱して出火する危険性があります。

オイル等の種類にもよりますが、出火に至るまでには数時間ほどかかり、乾燥機で乾燥させ高温の状態になると、出火するまでの時間はより短くなります。乾燥機の使用後は、「乾燥機の中にそのまま放置せずすぐに取り出す」、「取り出した衣類などは山積みにはしない」ようにしましょう。また、乾燥機を使用せずに自然乾燥させるなどの対策を行いましょう。



写真 10-1 洗濯物の焼損状況



写真 10-2 焼損したタオルの状況